

事例紹介

佐渡地域医療連携ネットワークシステム

さどひまわりネット

 <http://www.sadohimawari.net>

システムの概要

システムの実施目的・地域など

参加団体数と参加患者数

参加の同意方法について

患者さんの同意取得の詳細

サービスについて

共有できる情報項目

共有情報の取得元

システムについて

通信ネットワーク

ログインセキュリティ

主なIT企業

サービス利用・参加料金

蓄積された個人情報の利用

予算について

費用の負担について

システムの概要

システム名	佐渡地域医療連携ネットワークシステム
代表団体	特定非営利活動法人佐渡地域医療連携推進協議会
運用開始状況	導入済み：2013年
稼働状況	サービス運用中
運用終了年	
提供地域	新潟
自治体の参加状況	運営主体として参画中
事務局運営人数	専任3人、兼任4人

システムの実施目的・地域など

システムの導入目的	救急医療対策、医療連携、在宅医療対策、糖尿病対策、疾病管理、導入目的その他、医師・看護師等の確保対策、へき地医療対策、脳卒中対策、精神科医療対策、疾病予防対策、健康管理
地域の課題	極端に少ない医療資源と地域住民の超高齢化

システム導入効果 凡例：（○）効果あり、 （△）どちらとも言えない、（×）効果なし	（○）患者サービスが向上した （△）患者の負担が軽減した （×）医療機関間で機能分化が進んだ （○）医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ （○）医療機関間の人的ネットワークが進んだ （×）医師の偏在を補う効果があった （△）患者紹介の円滑化が進んだ （△）地域中核病院のサポートが受けられるようになった （△）診療所の支援が受けられるようになった （△）業務全体の負担軽減 （△）医師の負担軽減 （○）看護師の負担軽減 （△）事務職員の負担軽減 （△）技術職員の負担軽減 （○）従事者間の情報共有が向上した （○）従事者間の連携が向上した
システムの課題	関係者のITリテラシーの問題がありあまり活用できない、運用経費の費用負担が大きい、その他
工夫した点	電子カルテのみではなく、既存機器から情報を自動で収集する仕組みの開発。情報収集障害対応。利用促進。住民同意取得。健診データ取得。
対象地域	二次医療圏での連携

参加団体数と参加患者数

参加団体と参加患者数	【病院】 実施中：6施設 【医科診療所】 実施中：14施設 【歯科診療所】 実施中：6施設 【薬局】 実施中：15施設 【介護施設】 実施中：37施設 【その他】 実施中：2施設
利用施設数の割合	
登録患者数状況	実績数
登録患者数	155577
情報共有している患者状況	実績数
共有患者数	13038

参加の同意方法について

医療機関等	医療機関地域全体で参加 医療機関施設毎の参加判断
介護施設・その他	介護施設地域全体で参加 介護施設施設毎の参加判断

患者さん	患者一括同意 患者施設毎 全ての施設毎
------	---------------------------

患者さんの同意取得の詳細

新規の患者さん	同意書による取得
撤回する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
連携先の増加	連携先追加の掲示板,Webページ等による周知(黙示同意)

サービスについて

疾病	
サービス	電子紹介状、退院時サマリ、健診情報連携、画像情報の共有、検査機関との連携、医療従事者用モバイル対応、在宅医療連携、介護連携、その他のサービス情報共有、その他のサービス診療・検査予約、その他のサービスEメール・メルマガなど
補足・備考	

共有できる情報項目

基本情報	患者基本情報、病名情報
文書	診療情報提供書、サマリ、文章その他 添付ファイル、患者別フォルダとして汎用の文書保存・参照機能あり
オーダ情報	
検査結果	検体検査結果、画像
調剤結果	調剤結果
その他	その他 レセプト記載の処置(手術・麻酔含む)および注射内容、電子カルテより診断レポート・服薬指導・栄養指導・輸血実施歴、アレルギー・副作用歴・禁忌薬・感染症

共有情報の取得元

共有情報の取得元	病院電子カルテより、病院レセコンより、医科診療所電子カルテより、医科診療所レセコンより、歯科診療所レセコンより、薬局レセコンより、検査センターより、その他より X線や内視鏡などの画像機器または画像管理システム
----------	---

システムについて

連携方式	クラウド型
情報共有の形態	双方向での共有
患者IDシステム	独自開発のシステムを利用、その他の共通IDシステムを利用、ヘルスケアリレイションズCoEsse
標準化ストレージ	SS-MIX 2
情報の保存場所	院外のデータセンター
障害対策	提供ベンダーのサービスを利用
厚労省標準規格の採用	診療情報提供書2、医療におけるデジタル画像と通信、JAHIS臨床検査データ交換規約

通信ネットワーク

医療機関等との通信	医療機関との通信インターネットVPN
介護施設・その他施設との通信	介護施設の通信インターネットVPN、介護施設の通信その他のVPN
患者さんとの通信	

ログインセキュリティ

医療機関・薬局用	IDとパスワード
介護施設・その他施設用	IDとパスワード
患者さん用	

主なIT企業

企業名（1）	日本ユニシス（株）
企業名（2）	ヘルスケアリレイションズ
企業名（3）	

サービス利用・参加料金

病院（開示施設）	
病院（閲覧施設）	実施中：有料 月額：100000円 補足：参加病院の規模により利用料は異なる。
診療所	実施中：有料 月額：25000円
薬局	実施中：有料 月額：10000円
介護施設	実施中：有料 月額：10000円
患者さん	実施中：無料

蓄積された個人情報の利用

地域の医療費適正化の目的で利用	実施なし/予定なし
学術研究等の公益目的で利用	実施中
公益目的以外で利用	実施なし/予定なし

予算について

構築費用概算	1600000（千円）
年間運用費用概算	4500（千円）
保守費概算	34000（千円）
その他年間費用概算	8000（千円）

費用の負担について

実施中システム構築費の負担	
実施中システム運用費の負担	参加施設の負担
実施予定システム構築費の負担	国の負担（厚労省）
実施予定システム運用費の負担	

[← 事例一覧へ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

医療情報連携ネットワークはなぜ必要？

- ＞ 出発点は地域医療を良くしたいという思い
- ＞ 医療情報連携ネットワークの導入効果
- ＞ 利用者の声（導入効果）

医療情報連携ネットワークをどう作る？

- ＞ 医療情報連携ネットワークの構築手順
- ＞ 実施のポイント
- ＞ 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- ＞ ガイドライン、書式例など

医療情報連携ネットワークの具体例を見る

医療情報連携ネットワークとは

- ＞ データで見る
- ＞ ピックアップ事例
- ＞ 事例を探す

構築手順

- ＞ 構築手順について
- ＞ Step1：計画
- ＞ Step2：構築
- ＞ Step3：運用
- ＞ Step4：更改

FAQ

- ＞ 用語集
- ＞ お役立ち情報
- ＞ リンク集
- ＞ 資料ダウンロード